作成年月日	令和　３　年　４　月１９日
作成部局課室名	教育委員会事務局文化財課

兵庫県立考古博物館

春季特別展「弥生時代って知ってる？　―2,000 年前のひょうごー」

近年の研究の進展により、弥生時代は 1,000 年以上の長い時代であったといわれています。大陸との交流を背景に水田稲作や金属の使用がはじまり、ムラからクニへと、現在のくらしの元となる大きな社会の変化が起こった時代です。

本展では、歴史を学ぶこどもたちを含めた幅広い年齢層が興味をもてるよう、弥生時代の様々なトピックをわかりやすく紹介します。

１　会　　期　2021 年 4 月 17 日（土）～2021 年 7 月 4 日（日）
２　展覧会名　弥生時代って知ってる？－2,000 年前のひょうご－
３　会　　場　兵庫県立考古博物館 特別展示室
４　主　　催　兵庫県立考古博物館
５　後　　援　兵庫県、兵庫県教育委員会、NHK 神戸放送局、サンテレビジョン、ラジオ関西
６　協　　力　(公財)兵庫県まちづくり技術センター、山陽電気鉄道株式会社、ひょうご考古楽倶楽部
７　観覧時間　9:30～18:00（入場は 17:30 まで）
８　休 館 日　月曜日（祝日の場合は翌平日）
９　観 覧 料　大人　500 円(400 円)、大学生　400 円(300 円)、高校生以下無料
（　）は 20 名以上の団体料金、各種割引あり

《展示のみどころ》

展示構成

１　縄文から弥生へ
縄文土器と弥生土器、道具などの比較や、兵庫県での水田稲作の様子を通じて、縄文時代と弥生時代の違いについて考えます。

２　大陸から伝わったもの
弥生時代には、大陸から稲作をはじめ、青銅器や鉄器などの金属が伝わりました。大陸産の武器や青銅器とともに、それらに影響をうけた兵庫県の資料についても紹介します。

３　マツリの様子
弥生時代には米の豊作に感謝したマツリが行われ、銅鐸などの青銅器が使われたと考えられています。兵庫県内で見つかった様々なマツリの道具を紹介します。

４　弥生人のくらし
弥生人のくらしはどのようなものだったのでしょうか。土器や石器などの生活の道具を展示し、弥生ムラの生活について考えます。

５　ムラからクニへ
米づくりが安定し人口が増えると、土地や水などをめぐる様々な争いがおこり、ムラからクニへとより大きなまとまりに変化していったと考えられています。ここでは、弥生時代のクニの姿として、国内最大級の環濠集落である吉野ヶ里遺跡（佐賀県）を紹介し、兵庫県の状況についても紹介します。

《おすすめの展示品》

◎ **把頭飾付有柄細形銅剣**（はとうしょくつきゆうへいほそがたどうけん）　佐賀県吉野ヶ里遺跡出土（文化庁蔵）国指定重要文化財

国内最大規模の環濠（かんごう）集落である吉野ヶ里遺跡(佐賀県)から出土した銅剣です。北墳丘墓と呼ばれる首長の墓のひとつから見つかりました。剣身、柄、把頭飾まで一体で鋳造されたもので、今のところ国内では４例しか出土しておらず、大変貴重な剣であったと考えられます。

◎ **望塚(ぼんづか)銅鐸**　加古川市出土　県指定重要文化財(当館蔵)

加古川市八幡町上西条の通称「望塚」と呼ばれる塚付近から大正時代に発見された銅鐸です。弥生時代中期に作られた銅鐸で、身の部分には、僧侶の袈裟に似ていることから名付けられた袈裟襷（けさだすき）文があり、６区画に区分されています。

◎ **金印「漢委奴国王」**（かんのわのなのこくおう）　福岡県志賀島出土

（原品国宝。展示は複製。福岡市博物館蔵）

江戸時代、博多湾に浮かぶ志賀島（しかのしま）で発見されました。金印に刻まれた「漢委奴国王」の５つの文字から、漢の皇帝が委奴国王に与えた印であることがわかります。中国の歴史書『後漢書』には、建武中元２年（紀元後 57 年）に光武帝が倭奴国王に印を与えたことが書かれており、この金印のことであると考えられています。

《関連イベント》（いずれも事前予約が必要）

◆講演会　　参加費：無料
　　　　　　場　所：兵庫県立考古博物館講堂　　定員：72 人

5 月 15 日（土）　13：30～15：00
　オンライン講演会「 弥生人と漢人（あやひと）の浜」
　講師：石野 博信（当館名誉館長）

5 月 22 日（土）　13：30～15：30
　「望塚銅鐸を復元する」
　講師：竹下 邦彦（兵庫県立相生産業高等学校）
　　　　篠宮 正　（(公財)兵庫県まちづくり技術センター）

6 月 12 日（土）　13：30～15：00
　「発掘でわかったひょうごの弥生時代」
　講師：多賀 茂治（兵庫津ミュージアム整備室）

◆イベント　　参加費：有料

○ 遺跡ウォーク「赤穂市・有年の遺跡散策」　6 月 5 日（土）　10：30～15：30
○ 体験講座「金印をつくって、手紙を出そう」 6 月 19 日（土）
　［午前］10：00～12：00 ［午後］13：30～15：30

問い合わせ先

兵庫県立考古博物館
〒675-0142　加古郡播磨町大中 1-1-1
【HP】　https://www.hyogo-koukohaku.jp/
【内容に関すること】学芸課　担当学芸員　松岡千寿　TEL　079－437－5562（学芸課直通）
【取材・写真提供に関すること】企画広報課　TEL　079－437－5589(代表)　FAX　079－437－5599

春季特別展

弥生時代って知ってる？

―2,000年前のひょうご―

2021. 4/17 Sat. ▶ 7/4 Sun.

| 観覧時間 | 午前9時30分～午後6時（展示室への入場は午後5時30分まで）
| 休館日 | 月曜日 ※祝日の場合翌平日
| 観覧料 | 大人：500（400）円 | 大学生：400（300）円 | 高校生以下無料
※( )は20名以上の団体料金 ※障害者手帳提示で本人は75％減免、介助者1名まで無料 ※70歳以上の方は大人料金の半額
| 主催 | 兵庫県立考古博物館 | 後援 | 兵庫県／兵庫県教育委員会／NHK神戸放送局／サンテレビジョン／ラジオ関西
| 協力 |（公財）兵庫県まちづくり技術センター／山陽電気鉄道株式会社／ひょうご考古楽倶楽部

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。

兵庫県立考古博物館

Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

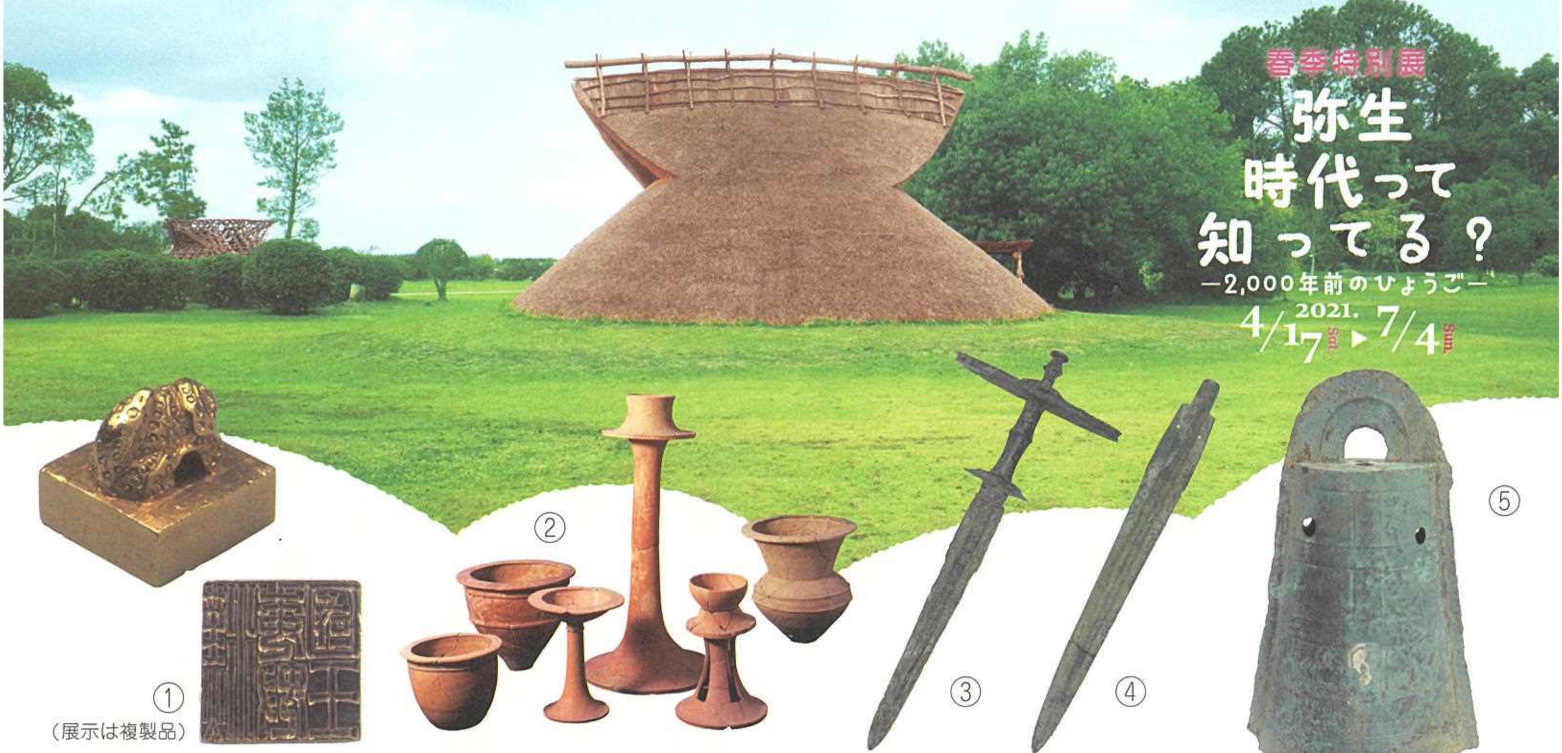
近年の研究の進展により、弥生時代は、1,000 年以上の長い時代であったといわれています。大陸との交流を背景に水田稲作や金属の使用がはじまり、ムラからクニへと、現在のくらしの元となる大きな社会の変化が起こった時代です。本展では歴史を学ぶこどもたちを含めた幅広い年齢層が興味をもてるよう、弥生時代の様々なトピックをわかりやすく紹介します。

春季特別展

弥生時代って知ってる？

—2,000年前のひょうご—

2021. 4/17 Sat. ▶ 7/4 Sun.



講演会 ＊要予約

当館講堂／無料
開場時間 12:45 ／ 定員 72 名

5月15日(土)『オンライン講演会 ※自宅からの講演です
弥生人と漢人(あやひと)の浜』
石野 博信（当館名誉館長）
《講演時間13:30～15:00》
予約受付開始3月16日(火)～
応募〆切 4月27日(火)必着

5月22日(土)『望塚銅鐸を復元する』
竹下 邦彦（兵庫県立相生産業高等学校）
篠宮 正 ((公財)兵庫県まちづくり技術センター)
《講演時間13:30～15:30》
予約受付開始3月23日(火)～
応募〆切 5月4日(火)必着

6月12日(土)『発掘でわかったひょうごの弥生時代』
多賀 茂治（当館館長補佐）
《講演時間13:30～15:00》
予約受付開始4月13日(火)～
応募〆切 5月25日(火)必着

講演会の予約方法 ※応募多数の場合抽選。当選・落選に関わらず、抽選結果をお知らせ致します。

▶往復はがきでの予約
●往復はがきに、下記の内容を記入して下さい。
①開催日・講演会 ②氏名・年齢(1枚につき1名) ③住所 ④電話番号(当日連絡のつく番号)
送付先(往信) 675-0142 加古郡播磨町大中 1-1-1 兵庫県立考古博物館 学芸課

▶オンラインでの予約
●当館ホームページより予約いただけます。

関連イベント ＊要予約

6月5日(土)『赤穂市・有年の遺跡散策』※ひょうご考古楽倶楽部主催
当館ボランティアによる遺跡ウォーク
予約受付開始4月5日(月)～
応募〆切 5月5日(水)必着
時間：10:30～15:30/定員：25名/料金：500円/対象：中学生以上

6月19日(土) 体験講座『金印をつくって、手紙を出そう』
金属で金印をつくり、本来の使い方で手紙に封をします。
予約受付開始4月19日(月)～
応募〆切 5月19日(水)必着
時間：【午前】10:00～12:00 定員：5名【午後】13:30～15:30 定員：5名
料金：1000円/対象：小学4年生以上(小学生は保護者同伴)

体験講座の予約方法 ※応募多数の場合抽選。当選・落選に関わらず、抽選結果をお知らせ致します。

▶往復はがきでの予約
●往復はがきに、下記の内容を記入して下さい。
①開催日・講座名 ②氏名・年齢(全員分4名まで) ③代表者住所 ④電話番号(当日連絡のつく番号)
送付先(往信) 675-0142 加古郡播磨町大中1-1-1 兵庫県立考古博物館 学習支援課

▶オンラインでの予約
●当館ホームページより予約いただけます。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、展覧会、イベント等の会期や内容に変更が生じる可能性があります。最新情報は当館ホームページにてご確認ください。

特別展解説 当日受付 13:30～14:00 4月24日(土)・5月8日(土)・7月3日(土)

アクセス

| 電車 | ・JR 土山駅南口から「であいのみち」を徒歩15分
・山陽電車播磨町駅から喜瀬川に沿って徒歩25分

| 車 | ・第2神明／加古川バイパス明石西ICから約3km

※博物館に駐車場はありません。できるだけ公共交通機関をご利用ください。周辺には播磨町大中遺跡公園駐車場（64台／有料）と播磨町野添であい公園駐車場（50台／有料）があります。

触れる・体感する、考古学のワンダーランド。

兵庫県立考古博物館
Hyogo Prefectural Museum of Archaeology

〒675－0142 加古郡播磨町大中 1－1－1
| 電話 | 079－437－5589
| H P | https://www.hyogo-koukohaku.jp/

①金印「漢委奴国王」展示は複製品
（福岡県志賀島）原品国宝 福岡市博物館蔵

②祭祀土器
（佐賀県吉野ヶ里遺跡）佐賀県蔵

③把頭飾付有柄細形銅剣
（佐賀県吉野ヶ里遺跡）国重要文化財 文化庁蔵

④古津路銅剣
（南あわじ市）兵庫県指定文化財 当館蔵

⑤望塚銅鐸
（加古川市）当館蔵

入館にあたっては新型コロナウイルス感染防止対策にご協力お願いします。

02教Ⓟ3-014A4